

【主な活動（諸行事）】

8/6(日)「消防感謝祭」
第72回岐阜県消防操法大会



8/25(金)
岐阜県広域防災センター



9/24(日)
動物愛護フェスティバル



岐阜県消防学校で開催された大会では、消防団の皆様が、日頃の訓練の成果を十分に発揮されていました。日頃のご尽力に心から感謝申し上げます。

10/1(日)
ぎふ清流レクリエーションフェスティバル2023



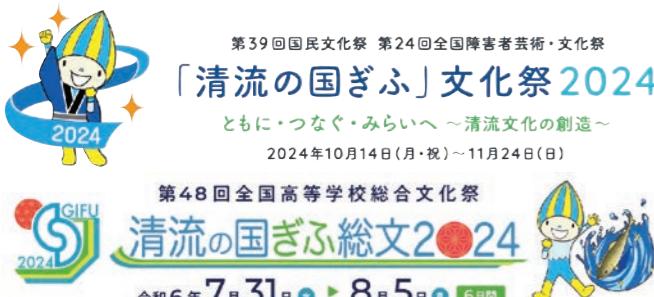
県庁ミナモホール、県庁20階清流ロビー、ぎふ結のもり、OKBぎふ清流アリーナ（体育館）で開催。様々なレクリエーションが体験できるミナレク広場が設けられました。

10/15(日)
清流の国ぎふ総文2024 プレ大会



第48回全国高等学校総合文化祭（文化部のインターハイ）が、来年7月31日から開催されるのを前に、本番を見据えたプレ大会として、総合開会式が長良川国際会議場で開催。周辺道路では高校生主体によるパレードも開催。

2024年（令和6年度）に岐阜県で2つの文化の大会が開催されます



<https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/>

期間中は県内各地で多くの行事が開催され、様々な文化・芸術に親しむことができます。
詳細はHPをご確認ください。



岐阜県パートナーシップ宣誓制度



岐阜県パートナーシップ宣誓制度とは、お二人が、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において相互に協力して継続的な生活を共にすることを知事に宣誓し、県が宣誓書受領証を交付する制度です。この制度は、法律上の婚姻とは異なり、宣誓により法的な権利の発生や義務の付与を伴うものではありませんが、お二人の人生が岐阜県の中で尊重され、自分らしく暮らしていただくことを応援するもので、令和5年9月1日から開始しました。

「宣誓書受領証」の提示により利用できるサービスは、公営住宅の入居申込み、医療機関での面会、緊急連絡先の指定、治療方針の説明などですが、詳細はHPをご確認ください。



パートナーシップ宣誓制度

令和5年第4回定例会 岐阜県議会公明党の代表質問から（要旨）

令和5年第4回定例議会が9月14日から10月5日までの期間で開催されました。知事から提出された案件は中小企業向けの実質無利子・無担保の融資に関する銀行への預託金などの増額や、コクチバスの生息拡大を防止するための啓発・調査などを内容とする、総額171億円余の補正予算など予算及び決算関係17件、条例関係5件、契約その他関係9件の計31件でした。決算の認定については、引き続き審査されることになり、その他の案件は可決されました。

令和5年度9月補正予算で取り組まる主な事業

◆ 中小企業・小規模事業者に対する金融支援の強化（101億6,721万円）

高水準で推移している民間ゼロゼロ融資（コロナ禍における実質無利子・無担保融資）の借換などの需要に対応するため、預託金及び信用保証料補給金を増額。



◆ コクチバスの生息拡大防止に向けた緊急対策（1,060万円）

コクチバスの生息拡大を防止するため、放流禁止の啓発や生息地調査などを緊急実施。



■ 「やさしい日本語」について

- 「やさしい日本語」の県内でのさらなる普及促進に向けてどのように取組まれるか？



答弁) 清流の国推進部長

● 国の調査によると約8割の外国人が理解できることから、「やさしい日本語」が有効とされている。そのため、1つ目、岐阜県のホームページで「やさしい日本語」で読むことができるページを増やします。2つ目、外国人と一緒に働く会社の人々に「やさしい日本語」を教えます。3つ目、「やさしい日本語」を勉強したい役所や会社の人を応援します。この3つで、「やさしい日本語」が使える人を増やします。



- 県警察における「やさしい日本語」に関する取組状況は？

答弁) 警察本部長

● 日本語を母国語とされない方であっても円滑な手続ができるよう、各種届出書の記載例や関係者への通知文を「やさしい日本語」で作成したり、事件・事故や災害から身を守るためにチラシやリーフレットを「やさしい日本語」で作成するなど取組んでいる。他県の先進的な取組みも参考につつ、外国人の方の安全・安心の確保に向けて、「やさしい日本語」に関する取組みをより一層強化していく。

「やさしい日本語」とは、簡易な表現を用いる、文の構造を簡単にする、漢字にふりがなを振るなどして、子どもや日本語に不慣れな外国人にもわかりやすくした日本語です。

■ 「保育士確保の取組み」について

- 保育のニーズがさらに高まることが予想される中で、保育現場に寄り添った保育士確保の取組みが必要では？

答弁) 子ども・女性局長

● 保育の多様化への対応などにより、保育士の負担は増加し、人材確保には苦慮しているのが現状。そのため、保育士・保育所支援センターにおいて、現役保育士の困りごとを丁寧にお聴きし、助言を行っている。さらに、潜在保育士の就職相談や希望する施設とのマッチング、中高生に対する保育士養成校などの体験見学会、資格取得に向けた修学資金の支援を実施するとともに、ラジオ等を通じた、保育の仕事の魅力発信を行っている。